



—異分野融合による先端医療技術の社会実装をめざして、5大学が連携！—

先端医療開発コンソーシアムに関する協定を締結

～8月9日(火) 15時00分より藤田医科大学で協定締結式～

藤田医科大学(愛知県豊明市 学長:湯澤由紀夫)、愛知学院大学(愛知県日進市 学長:引田弘道)、岐阜薬科大学(岐阜県岐阜市 学長:原英彰)、摂南大学(大阪府寝屋川市 学長:荻田喜代一)、名城大学(愛知県名古屋市天白区 学長:小原章裕)の5大学は8月9日、新たな医療技術開発に向けた「先端医療開発コンソーシアム」を設立します。

本協定は、薬学系・工学系の大学による優れた研究成果や発明について、医学系大学が医師主導臨床研究やAMED(日本医療研究開発機構)の資金獲得をはじめとする支援を行うことで、医薬品・医療機器・体外診断用医薬品・再生医療等製品を含めた先端医療技術の社会実装を実現することを目的としています。

つきましては、5大学の学長らが出席し、以下の日程で協定締結式を行います。ぜひご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【協定締結式】

日時 2022年8月9日(火) 15時00分～

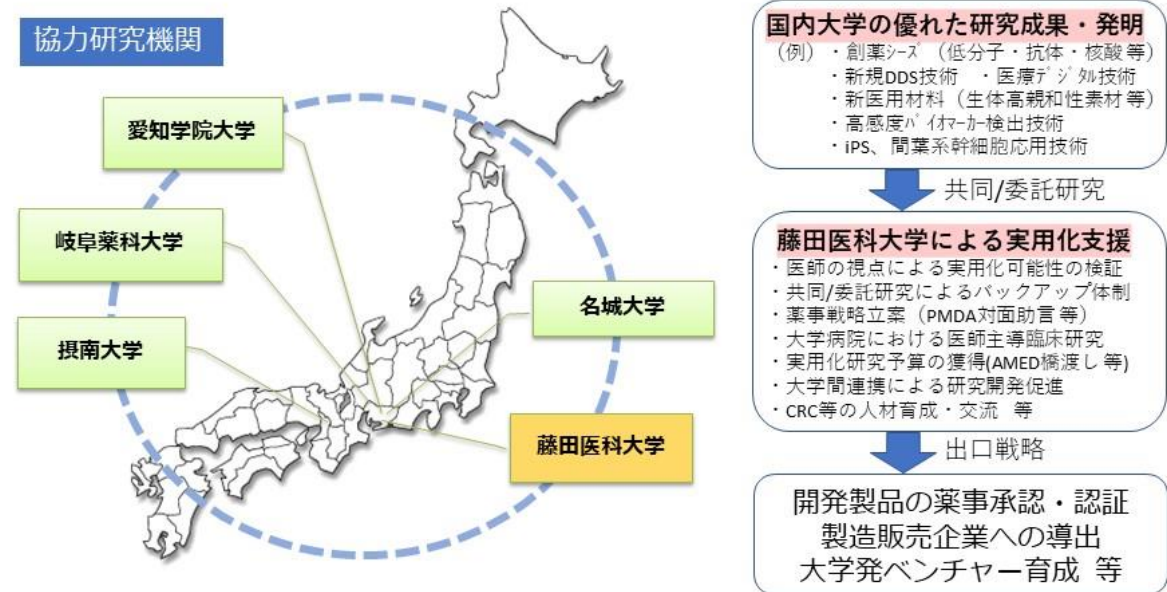
場所 藤田医科大学 大学2号館5階 理事会室
(愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98)

出席者	愛知学院大学	引田 弘道 学長
	岐阜薬科大学	原 英彰学長
	摂南大学	荻田 喜代一学長
	名城大学	小原 章裕学長
	学校法人藤田学園	星長 清隆理事長

【協定の内容】

- (1)大学が保有する研究シーズの実用化をめざした、多施設共同による基礎研究、非臨床試験および臨床試験等の企画、調整および実施
- (2)人事交流を通じての人材育成
- (3)産学連携による企業とのマッチングおよび知的財産管理の支援
- (4)大学発ベンチャーの起業支援
- (5)その他必要と認められる活動

先端医療開発コンソーシアム



大学から生みだされた薬学系・工学系の研究シーズをもとに、藤田医科大学との協働で、医薬品、医療機器、体外診断用医薬品、再生医療等製品分野の非臨床・臨床研究開発を推進し、先端医療技術の社会実装を実現するコンソーシアム

先端医療開発コンソーシアムのイメージ

【協定締結の背景と今後の展開】

基礎研究の成果を医療に活用するための橋渡し研究では、より多くのシーズを発掘することが課題といえます。本協定では、薬学部、工学部など多様な研究シーズを有する4大学と、医学系総合大学である本学が連携することにより、相互の強みを生かした橋渡し研究の実現および社会のニーズに応えた医療技術の開発が可能になると考えます。

協定締結により、藤田医科大学研究推進本部産官学連携推進センター内に本コンソーシアムの事務局を設置。今後は、加盟大学の代表による理事会および定期的な連絡会議を実施し、社会実装に向けた研究開発およびシステム構築に取り組んでまいります。

【藤田医科大学について】

医学部(医学科)、医療科学部(医療検査学科・放射線学科)、保健衛生学部(リハビリテーション学科・看護学科)、の3学部5学科2専攻と大学院、藤田医科大学病院を含む4つの大学病院を有する医療系総合大学。社会の課題に真正面から向き合うことを信条とし、新型コロナウイルス感染症に対しても愛知県からのPCR検査の受託や積極的な陽性者の受け入れ、新型コロ

ナワクチン大規模接種会場の開設など、地域医療の最後の砦として社会に貢献してきました。研究においては、社会的な医療課題の解決をめざし、キャンパス内に「精神・神経」「がん」「再生医療」「感染症」に特化したセンターを開設。難治性疾患に対する診断・治療法の確立に向け、世界水準の研究に取り組んでいるほか、知的財産を社会に還元するための「産官学連携推進センター」を設置し、社会実装への橋渡しを進めています。

【愛知学院大学について】

愛知学院大学は、1876年曹洞宗専門学支校として開設され、禅の思想を基とした「行学一体」、「報恩感謝」を建学の精神としています。薬学部、歯学部、心理学部、心身科学部の医療・健康科学系学部のほか、文・商・経営・経済・法・総合政策学部の10学部16学科に短期大学部（歯科衛生学科）を擁する総合大学で、2026年に学院創立150周年を迎えます。

医療系学部の薬学部では、基礎から臨床まで4つの専門性を高め、医療に貢献できる薬剤師を、また、歯学部では、基礎系分野で歯科医学の基礎を高め、臨床系分野で実臨床に即した力を培う人材の養成をめざしています。

14万人を超える多くの卒業生とのつながりを活かし、産官学連携の取組みを積極的に進めています。

【岐阜薬科大学について】

岐阜薬科大学は国公立大学の中で唯一の薬学単科の大学であり、大学院薬学研究科を設置しています。建学の精神である「強く、正しく、明朗に」をモットーに、高邁な人格形成と、「グリーンファーマシー」（人と環境にやさしい薬学、安心・安全を提供できる薬学）を基本理念とした薬学教育を通じて、人類の健康・福祉に貢献できる人材を育成しています。創設90年の歴史の中で、1万3千人を超える卒業生が病院・薬局などの医療機関をはじめ、製薬や化学工業、医薬品販売業、行政機関、さらに大学・研究所等の学問分野で活躍しています。「大学ランキング2022年度版（朝日新聞出版）」では、論文引用度指数（教員の生産性：教員1人当たりの年間主著論文数）で1位、科研費の新規採択率で6位となるなど、岐阜薬科大学の研究力は、国内の国公立大学791校の中でトップクラスを誇り、国・地域・産業界の協力を得て、地域社会の様々な課題解決に貢献しています。

【摂南大学について】

人間力・実践力・統合力を養い、自らが課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人を育成することを教育の理念に掲げ、社会の多様な要請に応える人材を育成しています。国内外で高い評価を得る研究者や社会の第一線での実績を持つ教授陣が、8学部と大学院6研究科間で相互に連携を図り、さまざまな角度から特色ある教育を行っています。アクティブ・ラーニングをベースとした実践的教育と少人数教育を柱に、副専攻課程など、学部横断的な教育プログラムで学生の主体性を養成。教養教育・初年次教育の強化などにも取り組んでいます。

2023年4月には現代社会学部（仮称）を開設予定です（設置認可申請中）。

【名城大学について】

2022年4月に新設された情報工学部を加え、10学部26学科、9大学院研究科、学生数約15,000人を擁する中部圏では最大規模の総合大学となりました。2026年に開学100周年を迎えるにあたり「中部から世界へ 創造型実学の名城大学」を将来ビジョンに掲げ、「先見性、多様性、専門性を身に着けた実行力・実現力」を兼ね備えた人材育成をめざしています。研究においては、総合大学の強みを活かし、様々な研究プロジェクトや共同研究・産学官連携を推進。学際的研究成果を社会に還元するべく設立した総合研究所の下に、分野横断的な研究分野に関わるいくつかの領域指定研究センターを設置する等、様々な研究を展開しています。

ご取材いただける場合は、8月8日(月)15時までに下記の取材申込書の内容をメールもしくは電話、FAX(0562-93-4597)にてお知らせください。

貴社名			
出席者名 (代表者)		出席人数	名
スチール カメラ	台	テレビ カメラ	台
ご連絡先	TEL:	MAIL:	

〈本件に関するお問い合わせ先〉

学校法人 藤田学園 広報部 TEL:0562-93-2868・2492

MAIL : koho-pr@fujita-hu.ac.jp

〈本件発信部署〉

学校法人常翔学園 広報室 (担当: 坂上、上田) TEL:072-800-5371

MAIL : SAKAGAMI.Kyoko@josho.ac.jp